

3D CAD/BIM・3DCG ファイルの AR/MR みえる化ソリューション「mixpace」に、 「位置指定 AR マーカー機能」を追加

SB C&S 株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長 兼 CEO：溝口 泰雄、以下「SB C&S」）と株式会社ホロラボ（本社：東京都品川区、代表取締役 CEO：中村 薫、以下「ホロラボ」）は、ホロラボが開発し SB C&S が販売する 3D CAD（Computer Aided Design）/BIM（Building Information Modeling）・3D CG ファイルの AR（Augmented Reality）/MR（Mixed Reality）みえる化ソリューション「mixpace（ミクスペース）」に、3D モデルを現実空間に AR/MR 表示する場所を指定する AR マーカーを最大 10 個まで自由に設定できる「位置指定 AR マーカー機能」を追加搭載しました。

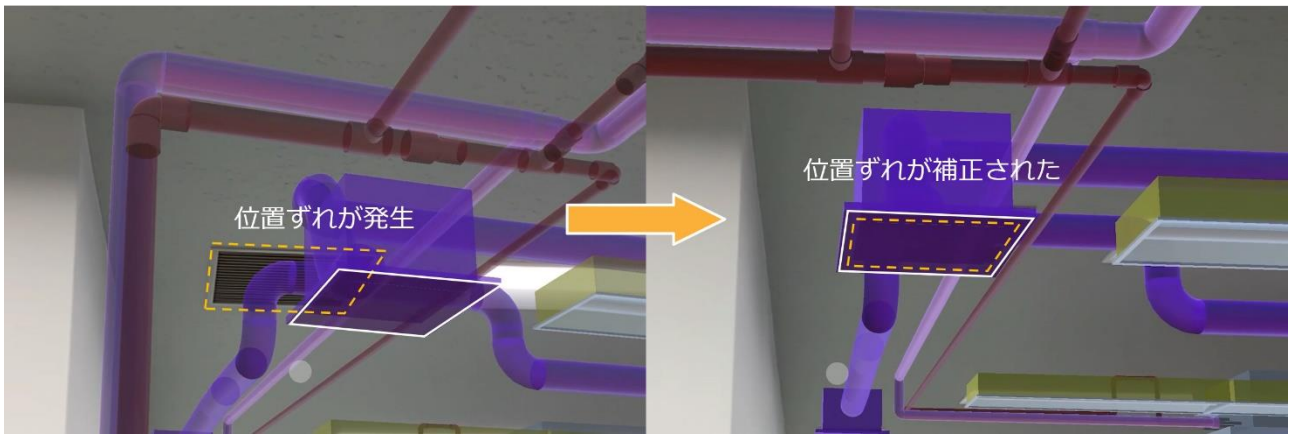
「位置指定 AR マーカー機能」搭載の新バージョンは、2021 年 1 月 20 日から提供を開始します。



iPad や HoloLens 2 などの AR/MR 対応デバイスで「mixpace」を利用した場合、内蔵されたカメラでとらえた映像や慣性計測装置（IMU）の情報を利用して、現実空間上の自己位置や向きを判定（トラッキング）し、3D モデルを現実空間に表示します。しかし、自己位置や向きの判定精度には限界があり、利用中に移動したりデバイスを素早く動かしたりすると、判定に狂いが生じ、3D モデルが想定した現実空間上の位置とはずれて表示されることがあります。外部のセンサーやクラウドと連携して自動で補正を行う技術は存在するものの、導入コストが高く、ネットワーク接続の設定に専門的な知識を必要とするなど、導入のハードルが高いのが現状です。

今回新たに搭載する「位置指定 AR マーカー機能」は、移動先のポイントごとに位置合わせ用の AR マーカーをあらかじめ設定できるため、利用中の移動で 3D モデルの表示位置のずれが起こった場合も、近くの AR マーカーを再認識することにより簡単に補正することができます。ユーザーは mixpace の Web アプリから 3D モデルに対して自由に AR マーカーの位置が設定できるので、アプリ利用環境での作業動線に応じた AR マーカーの設置場所を自由にデザインできます。

1 つの 3D モデルに対して最大 10 個の AR マーカーを設定できるので、建物のワンフロア分の 3D モデルを表示しながら移動するような利用シナリオにおいても、最大 10 箇所の表示位置補正ポイントを設けることができます。



【「位置指定 AR マーカー機能」の特長】

- Web アプリに追加された「AR マーカー位置設定ツール」を使用し、3D モデルに対する AR マーカーの相対位置を自由に設定
- 1つの3D モデルにつき最大10個のAR マーカーを設定可能
- 「AR マーカー位置設定ツール」の「3D エディタ」で、変換済みの3D モデルをダウンロードせずにブラウザ上に表示可能
- 3D モデルを編集せずに Web アプリ上で AR マーカーの位置設定情報をリアルタイムに更新可能（特許出願済み）

本機能の詳細については、<https://mixpace.jp/feature/>をご覧ください。

【WEB セミナーのご案内】

mixpace の新機能「位置指定 AR マーカー機能」について詳しくご紹介いたします。

開催日：2021年1月28日 午後2時～午後2時50分

：2021年2月9日 午後2時～午後2時50分

参加お申し込み：<https://sbb.smktg.jp/public/seminar/view/4888>

【「mixpace」とは】

「mixpace」は、手軽に3D CAD や BIM で作成したデータを AR/MR 対応デバイスで確認が可能な3D モデルに変換でき、設計、製造、建設、配置シミュレーション、施工、保守などで3D データを活用いただけます。これまで手作業で何日もかかっていた、AR/MR 向けの変換作業が、最短1-2分*で自動的に完了するので、作業時間の大幅な短縮が見込めます。詳細は[こちら](#)をご参照ください。

※ 変換に要する時間はデータの内容によって変わります。

【「mixpace」の特長】

- 3D CAD、BIM データをユーザー専用 Web ページにアップロードするだけで、自動で AR/MR 向け 3D データに変換
- AR/MR 開発の専用スキルがない人でも簡単に利用でき、AR/MR 化の作業効率が大幅に向上
- クラウドベースのサービスなので、場所や環境を選ばずいつでも利用可能
- 変換機能の一部にオートデスク社の Autodesk Forge を採用しており、複数の主要なファイル形式に対応。オートデスク社の 3D CAD、BIM 各種データ形式のほか、製造・設計用 3D CAD の中間ファイル形式などの主要なファイル形式に対応（一部対象外あり）
- 変換されたデータはマイクロソフトのクラウドプラットフォーム Microsoft Azure 上のセキュアなストレージに保存。高いセキュリティーを保持
- HoloLens 2 と iPad（一部機種）に対応した専用ビューアーアプリを提供

SB C&S 株式会社について

SB C&S 株式会社は、ソフトバンクグループの原点である IT 関連商材の流通事業をはじめ、モバイルアクセサリや IoT 機器の製造・販売、各種クラウドサービス・ICT ソリューションの提供、Web サービスや購買支援事業など、ソフトバンクグループのシナジーを活かしたサービスを幅広く提供しています。詳細は[こちら](#)をご覧ください。

株式会社ホロラボについて

株式会社ホロラボは、2017 年 1 月 18 日（Microsoft 社の「HoloLens」の日本での提供開始日）に設立された研究開発型の企業です。「Windows Mixed Reality」に代表される最新技術をいち早く使いこなし、より多くの人たちが体験できるよう、調査研究、システム・アプリケーション開発、啓蒙活動を行っています。2017 年 11 月 8 日に Microsoft Mixed Reality パートナープログラム認定を取得しました。詳細は[こちら](#)をご覧ください。

- SoftBank およびソフトバンクの名称、ロゴは、日本国およびその他の国におけるソフトバンクグループ株式会社の登録商標または商標です。
- その他、このお知らせに記載されている会社名および製品・サービス名は、各社の登録商標または商標です。